

# Look aside

韓国ジュエリー展

2015年10.03[土]-10.25[日]  
月曜休館(祝日の場合翌日)・入場無料  
10:00 - 18:00 (入館は17:30まで)



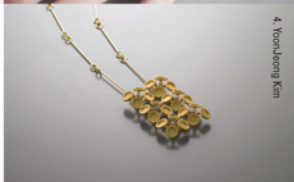
1. Daehee Ka



2. Kyek Kim



3. Shikyoung Kim



4. Yoonhong Kim



5. Jungsoo Kim



6. Hyeyon Kim

2015.  
**10.03** 土  
**10.25** 日



7. Heejeong Kim



8. Yoonhee Ryu



9. Bogil Min

**韓国 ジュエリー展**  
**「Look aside」**

今回、日本の伊丹市立工芸センターにて開催される「韓国ジュエリー展」は、現在韓国で装身具の制作と並行して金属造形作家として活躍している、約20人の作家による展覧会です。  
日本の展覧会が終わると韓国(ソウル)のYido galleryに巡回する予定です。

韓国には古くからの金属文化があり、このような文化的、歴史的背景の中で始まった韓国の金細工の装飾文化は、現在も多くの注目を集めています。今回の展覧会に参加する作家は、大学や大学院で金属工芸の基礎的な技術と技法を習得し、卒業後、豊かな個性を備えた深みのある優れた作品を制作する作家として位置づけられています。



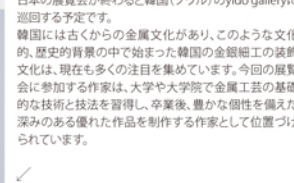
10. Sungsook Park



11. SaungChul Park



12. Inyoung Park



13. Seon Oh

現代社会の多様な環境と条件の中で、作家も各々異なる出発背景を持ち、個の表現世界を生きてきたことでしょう。金属工芸という共通の領域からスタートし、現在は装身具の一般的な素材とされていた貴金属から抜け出し、コンピューターを利用して制作した装身具をはじめ、様々な素材の実験的挑戦が感じられる作品まで、参加作家の個性あふれる作品が展示される予定です。

参加作家は、韓国国内では作品制作や展示をする機会が多々ありましたが、今回の日本での展覧会を通して作家自らの視野を広げ、今までは前後のみを見て走ってきたとしたら、少しの間立ち止まって周りを見て考える貴重な機会になればと思います。

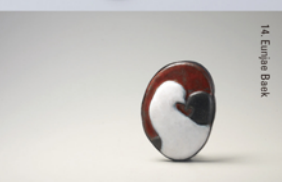
金属工芸作家は一日中、作業台の上にある材料と戦うことが日課であり人生でもあります。私は作家の内面世界を表現することに於いて、如何に多くの材料に触れ、如何に材料を適切に扱うかによって作品の完成度と深さが決まると 생각합니다。今回の展覧会に参加した作家達は、一見似ている仕事のようにも見えますが、独自の作品世界を持って最善をつくす作家なので、作られた作品を通して何が語られているか注目したいです。

今回の展覧会は伊丹市立工芸センター館長の積極的な関心と、大阪芸術大学の熊野先生のお陰で、開催に至りましたこと、感謝申し上げます。参加する作家達は、企画当初から展覧会が行われる場所が日本であることを念頭に置き、制作に助んだことでしょうか。これまで信念をもって熱心にまっすぐに歩んできた道から、少しの間立ち止まって日本の地で「周りを見てリセットし、新たな造形世界を広げられる機会になればと思います。

2015年8月 パク・ソンチョル



14. Jinyun Park



15. Eunjae Baek



16. Yul Jung



17. Jisoo Lim



18. Jisoo Lim



19. Yul Jung



20. Jeongsun Choi

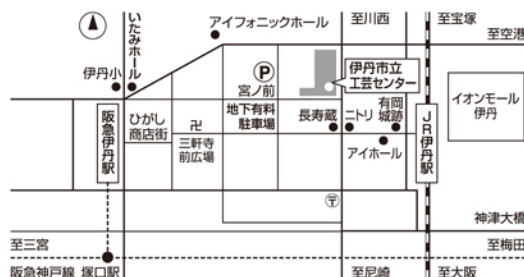


21. Jisoo Lim



22. Yul Jung

## The Museum of Arts & Crafts ITAMI



主催：伊丹市立工芸センター [公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]



・阪急電車 神戸線塚口駅乗り換え  
伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分  
・JR宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分  
※駐車場はございませんので、  
宮ノ前地下駐車場[有料]をご利用ください。

## 伊丹市立工芸センター

The Museum of Arts & Crafts・ITAMI

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28  
TEL: 072-772-5557 / FAX: 072-772-5558  
http://mac-itami.com